

連携医院のご紹介

今回は中区鶴見町で「地域に密着した温かい医療を提供すること」を第一の目標とされています、たけもとクリニックの竹本 元義 院長にお話しを伺いました。



竹本院長

たけもと クリニック

〒730-0045

広島市中区鶴見町 14-6

電話 / 082-541-0202

院長 / 竹本 元義

診療科目 / 内科・消化器科・呼吸器科・
小児科・整形外科・
放射線科・アレルギー科・
リウマチ科・リハビリ科



○力を入れている事などを教えてください。

小さなお子さんからご高齢の方まで、それぞれが、さまざまな病状をもっていらっしゃいます。こうした方々に適切に対応するため、内科、外科に限らず幅広く診ることが必要と考えており、総合医療に取り組んでいます。医師、看護師だけでなく、福祉・介護関係の方などと多職種で連携し、地域住民の方の力になればと思っています。また、広島生まれ、広島育ちですので、基幹病院の院長、医師などにも知り合いが多く、ネットワークがあります。入院などが必要な時には、基幹病院などにすぐに紹介するようにしています。通院が難しい方には、可能な範囲で訪問診療にも取り組んでおり、毎日、訪問しています。

○毎日の診察で大切にされている事や、やりがいは何ですか？

地域に密着した温かい医療を提供することを第一に考え、取り組むようにしています。学校医や保育園医にもなっています。

これまでと同様に多職種連携を進めながら、地域の方がその地域の中で安心して暮らし続けていけるよう引き続き、取り組んでいきたいと思っています。今日も、この取材が終了したら、訪問診療に行ってきます。今後も頼れる医療機関、気軽に相談できる医療機関を目指していきます。



たけもとクリニック外観

【取材後記】

取材を通して、竹本先生が地域の方のことを第一に考え、多職種連携の中で温かい医療を提供されていることがよく分かりました。取材は暑い7月ではありましたが、熱心に答えられるお姿から、こちらまでもパワーをいただきました。本当にありがとうございます。

2021年7月に取材しました



たけもとクリニックHP